『その延長線上にあったのは』

何度も何度も仲間の
名を叫んだ
何度も何度も仲間と
抱き合った
気持ちだけは相手に
負けたくないと
１点ずつの積み重ねを
お互いに確認するように
戦ってきた
冬季大会もそうだった
一つの勝利に一つずつ
自信をもちながら
勝ち上がっての優勝だった
海部津島の一位校として
のぞんだ平成最後の春季大会
「もう一度奇跡を起こしにいこう」と
大会前にみんなに呼びかけた
苦しい二日間になることは
知っていたからだ
折れそうになる心
不安に押しつぶされ寡黙
それを救ってくれたのは
チームの力
動かなくなった足に身体に
何度も『大丈夫』と鼓舞した
私がやらなければと
鼓舞してきた
その延長線上にあったのは
みんなのうれし涙だった
みんなの満面の笑顔だった

64 戦 42 勝 3 分 16 敗　総セット数 139 セット　90 セット勝　40 セット敗